

# 目次

<b>第2章 勝手にオススメ！JAWS-UG朝会の魅力発信</b>	<b>7</b>
2.1 JAWS-UG朝会はLT登壇初心者にもやさしい5分枠あり！	7
2.2 JAWS-UG朝会はしっかり伝えたい方にもやさしい20分枠あり！	7
2.3 朝だからこそ参加しやすい！	8
2.4 さいごに	8
<b>第3章 東京支部のススメ</b>	<b>9</b>
3.1 東京支部リポート	9
3.2 ランチタイムLT会	9
3.3 特産品	10
3.4 昔話：4人集まらない呪い	10
3.5 さいごに	10
<b>第4章 JAWS-UG Sales支部とは？</b>	<b>13</b>
4.1 初心者でも楽しく参加できるポイント	13
4.2 イベント内容と支部の雰囲気	14
4.3 おわりに – 初心者こそSales支部へ！	14
<b>第5章 転職にも良く効く CLI専門支部</b>	<b>16</b>
5.1 10年経っても陳腐化しないAWS知識	16
5.2 CLIでのAPI知識は転職によく効く (通称「JAWS-UG 転職支部」)	17
5.3 CLI専門支部の最近の活動	17
<b>第6章 社会人一年目がオススメするJAWS-UG DE&amp;I支部</b>	<b>19</b>
6.1 DE&I支部とは	19
6.2 どういったイベントがあるのか	19
6.3 オススメポイント	20
6.4 さいごに	21

<b>第7章 JAWS-UG横浜支部で人生初のLT登壇を経験して</b>	<b>22</b>
7.1 初めての登壇までの道のり . . . . .	22
7.2 10年の歴史を持つコミュニティの温かさ . . . . .	23
7.3 素晴らしい開催環境 . . . . .	23
7.4 継続的な学びの場 . . . . .	23
7.5 初心者の方へのメッセージ . . . . .	24

## 第1章

# Vivliostyle base theme サンプル

石原晶子(高野)

マークダウンより pdf 出力する記法サンプルです。出力結果は 2025jawsugbgnr.pdf、または npm run build で生成したpdfをご確認ください。

## 1.1 Demonstration of inline tags

以下文中の強調に使えるサンプルです。

斜体 / **太字** / **車体太字** / インラインコード / ~~取り消し線~~ / でっかい文字 / 小さい文字 / H<sub>2</sub>O / x<sup>2</sup> / Ruby / Inline link / [Block link]  $E = mc^2$

- 見出し

H1 は文中で使わないようにしてください。

## 1.2 Heading 2

### 1.2.1 Heading 3

Heading 4

Heading 5

Heading 6

---

## 1.3 リスト

- 第一
- 第一
- 第一
  - 第二

- 第二
- 第三

1. ほげ
2. ほげほげ
3. ふが
4. ふがふが
5. にゃんこ

段落htmlタグ

なんかTipsみたいに書きたいときに使おう

### 1.4 引用や文献や概要

```
echo "Kiro" echo "Kiro waitlist..." echo "zenzinrui Kiro de asonderu iina  
20250715"
```

### 1.5 コードブロック

```
https://kiro.dev/downloads/
```

### 1.6 図



図 1: Takano Logo

## 1.7 テーブル

表 1: Markdown table

aaa	bbb
loooooooooooooooooooooooooooooong	taaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaable

表 2: HTML complex table

Quarterly Earnings		
Q1	Net Income	\$50,000
	Total Revenue	\$100,000
Q2	Net Income	\$60,000
	Total Revenue	\$110,000
Total Earnings		\$110,000

## 1.8 脚注に出したいとき

となり小さい数字が出ます \*<sup>1</sup> \*<sup>2</sup>

## 1.9 章節項を自動で数字を出したいとき

章番号 §1, 節番号 §1.2and 項番号 §1.2.1.

## 1.10 図番号 自動で数字を出したいとき

画像 図 1and テーブル 表 1.

## 1.11 改行

---

\*<sup>1</sup> ちょっとこうすると技術書っぽいですね.

\*<sup>2</sup> うん.

```
<hr class="page-wrap" />
```

hr classで改行できます。

## 1.12 参考文献

参考文献として FootNoteに出したいときその2<sup>1</sup>の書き方はこうです。

著者紹介は形式を真似して書いてください。好きなリンクも適宜入れてOKです。

### 著者紹介

---



**高野(石原晶子) [X@takano0131](#)**

サークル名：とりむねにく

主にコミケと技術書典と都内ライブハウスと目黒に出没するインフラエンジニア。  
おうちだいすきインドア。

JAWS-UGでは初心者支部の運営、所属会社は週5出社が義務付けられたことで話題のAPN企業です。会社が家に来い…

---

1. やっぱりこうすると技術書っぽいですよ。え

## 第2章

# 勝手にオススメ！JAWS-UG朝会の魅力発信

山本 直弥 (Nao)

JAWS-UG朝会の運営メンバー！・・・ではない私ですが、朝会にはよく参加させていただいているのでその魅力を勝手に発信します。

JAWS-UG朝会のConnpassページ：<https://jawsug-asa.connpass.com/> LT登壇応募ページ：各イベントページに応募ページのURLあり ※LT登壇は順番待ちとなるため、応募した月のイベントでLT登壇できるとは限りません

## 2.1 JAWS-UG朝会はLT登壇初心者にもやさしい5分枠あり！

JAWS-UG朝会ではAWSに関することならどんなテーマでもOKの優しいイベントです。何かの失敗談でもAWSサービスを使ってみた所感でもOKです。登壇時間も5分枠と20分枠があるので、LT登壇の経験があまりなく登壇の経験を積むためにより気軽にLT登壇したい！という場合に5分枠で好きなテーマで登壇にチャレンジしたい方にはとてもオススメです。5分枠で登壇に慣れてきて、より深い話がしたいという方には20分枠でチャレンジも可能です。LT登壇の経験がなかった頃の私がそうでしたが、AWS専門のコミュニティのLT登壇会というスキルの高い技術者が集まって専門的なことや技術の深いところを語り合う場というイメージがありました。そんなLT登壇初心者の方にとって、テーマはなんでもありで登壇も短めの枠があるJAWS-UG朝会は優しい支部になっています。

## 2.2 JAWS-UG朝会はしっかり伝えたい方にもやさしい20分枠あり！

JAWS-UG朝会には20分枠が毎月2枠用意されています。私の経験では他のJAWS-UG支部では基本10分でたまに15分の枠があり、20分のものは珍しい方で貴重な機会かなと思いますが、朝会は毎回2枠が20分です。自身の知識や経験、伝えたいことを余すことなく伝えたい方は是非この20分枠で伝えてください。20分枠とはいえ、技術的に高レベルである必要はありません。AWSに関することで伝えたいことがある方は是非20分枠で参加応募してみてください。

## 2.3 朝だからこそ参加しやすい！

近年はオンラインイベントが多くなってきましたが、急な残業の発生などの業務都合や会社から自宅までの移動が間に合わなかったりと人によっては必ずしも業後のイベントに参加しづらい方もいらっしゃると思います。そんな方は朝会の参加を検討してみてください。朝会は朝の7:30から9:00まで開催されているので、出社前に最初の方だけ参加したり在宅の方であれば業務開始前に朝のラジオ代わりに内容を聞いてみても良いと思います。

## 2.4 さいごに

5分枠、20分枠ありのAWSに関することであればどんなテーマでもOKのJAWS-UG朝会は初心者から熟練者まで多くの人のニーズにこたえられる発信の場になっていると思います。何か発信したいことがある方は是非参加申込/LT応募してください。※寝坊には気を付けて。

### 著者紹介

---

**山本 直弥 ( Nao )**



X : <https://x.com/nananaonana7>

Qiita : [https://qiita.com/Nana\\_777](https://qiita.com/Nana_777)

lit.link : <https://lit.link/nao777nanaarchitect>

所属 : [JAWS-UG 名古屋支部](#)

2025～ AWS Community Builder (DevTools)

2023～ AWS All Certifications Engineer

今力を入れていること : 技術アウトプット(LT登壇、ブログ投稿など)

すきなもの : パーチャルおばあちゃん、ながの (ちいかわ)、真勇者ルーサー、神田伯山さん



## 第3章

# 東京支部のススメ

大木 裕介 (y-ohgi)

JAWS-UG東京支部の紹介をさせていただきます。

<https://jawsug.connpass.com>

## 3.1 東京支部リポート

支部の発端はみのるんさんが2年前に東京支部のリポートツイートをを行い、そのリプライに集まった3人とみのるんさんからリポートが始まりました。

2年間4人固定で運営してきましたが、2025年の秋に5人目となるふくちさんがJoinしてくださいました！

## 3.2 ランチタイムLT会



毎月やっているランチタイムLT会は最初の半年でそれぞれが「司会係」「配信係」「X(旧Twitterを監視して質疑応答を拾う)係」のおおまかに3つのロールを作ってそれぞれ順番に回しました。そのおかげで半年後には実質バス係数4になり、1人でもランチタイムLT会ができる体制が整いました。配信当日までの登壇者へのアポイントやアンケート作成・次回のconnpass作成などはベストエフォートで「できる人がやる」形で回しています。

### 3.3 特産品

東京支部の特産品としては「運営がスタンドアローンで思いついた勉強会を生やしてやりたいことをやる」というものがあります。

みのるんさんによる Bedrock Night、watany さんによる Presents 400、私（yohgi）による Community Builders Night など、各自がスタンドアローンで勉強会を主催しています。

これは各位の経歴的にクラウドを推進するポジションに居たことがひとつの理由なのかなと思っています。

また、それぞれのイベントをサポートし合うところもこの支部の良いところだと思っています。

### 3.4 昔話: 4人集まらない呪い

2025 年秋まで 4 人での運営を行い、毎月ランチタイム LT 会を行っているのですが運営 4 人が集まったことがオンライン・オフラインともに極めて少ないです。

4 人なのに片手で数えられる回数しか集まったことがない謎の呪いがかかっている...

今はふくちさんが積極的に活躍してくださってます！感謝！f

### 3.5 さいごに

東京支部が行っているランチタイム LT 会は毎月完全オンラインで全国から登壇者を募集しています。

完全抽選性で 1 枠 5 分なのでカジュアルにアウトプットの最初の一步目として是非登壇していただきたいと運営一同思っています。

## 東京支部運営メンバー

**みのるん @minorun365 (KDDIアジャイル開発センター株式会社)**

クラウドや生成AIで内製開発を行いながら、技術の楽しさを伝える活動をしています。

AWS Community Hero, AWS Samurai, 2025 Japan AWS Top Engineer & All Certs, Qiita 2024 Top Contributor / 著書「Amazon Bedrock 生成AIアプリ開発入門」(SBクリエイティブ), 「やさしいMCP入門」(秀和システム)

**watany @\_watany (NTTテクノクロス株式会社)**

2015年からAWSを用いた開発に携わり、アーキテクト・運用設計支援として活動する一方で、社内にてテクニカルサポートや研修講師を務めています。

また、AWS Community BuilderとしてAWS CDKのContributeや技術ブログの執筆を行っています。2024 AWS Ambassadorを受賞。

**y-ohgi @\_y\_ohgi (株式会社Topotal)**

株式会社TopotalでSREをやっております。

新卒として合同会社DMM.comに入社しCTO室でクラウドの活用方針・普及・技術支援など全般を携わらせて頂きました。その後、フリーランスとしてクラウドのスポットでの開発・技術支援・技術顧問などのお手伝いをやらせていただいています。2025 AWS Community Builder (Container)

**ムリギッテ @momitanJP**

### 第3章 東京支部のススめ

パブリックセクターから金融機関、製造業まで様々な業界のお客様に向けたシステム提案・導入をしています。

最近はCDK、コンテナ、データ基盤がメイン。趣味はBlackbeltを聞きながら筋トレです。



**ふくち @har1101mony**

LLMを触って遊んだり、LLMを組み込んだシステムの開発をしています。  
AWS Community Builder(AI Engineering) / 2025 Japan AWS Jr.Champion

## 第4章

# JAWS-UG Sales支部とは？



JAWS-UG Sales支部は、AWSクラウドに関わる**営業職やマーケター向け**の勉強会コミュニティです。

2018年9月に大阪で発足し、「**エンジニアじゃなくても楽しめるJAWS-UG**があってもいいんじゃないの？」という、ノリと発想から生まれました。

クラウド業界では年々AWSを扱うソリューション営業が増え、営業職も最新情報のキャッチアップが欠かせません。

しかし通常のエンジニア向け勉強会はハードルが高く感じる営業職も多いでしょう。そこで**営業やビジネス職が気軽に集まり、仕事を楽しむための知見共有や交流ができる場**として、Sales支部が誕生したのです。

AWSの技術ネタだけでなく、日々の営業活動のTipや困りごとを持ち寄ってみんなで解決策を探る、アットホームな雰囲気のコミュニティです。

---

## 4.1 初心者でも楽しく参加できるポイント

**JAWS-UG Sales支部最大の特徴は「非エンジニアでも楽しめる」**ことです。対象はクラウドに関わる営業・マーケ・カスタマーサクセス・プリセールス・サポートなど幅広く、技術スキルよりもビジネス視点を重視した内容になっています。

- **わかりやすいテーマ**

「営業目線でAWS Summitをどう感じたか」「顧客とのやりとりで役立つクラウド知識」など、実務に直結する話題が多く初心者も理解しやすい。

- **Fresh 卒（新人LT 卒）の存在**

「LT 初挑戦の方、大歓迎！」という新人向けの登壇枠があり、安心して発表できる。

- **温かい応援ムード**

発表後は大きな拍手とコメントが飛び交い、初心者もチャレンジしやすい雰囲気。

さらに「**学んだことが即仕事に活きる**」のもSales支部ならではです。  
AWS資格取得を通じて営業成績を伸ばした事例など、身近な成功体験が共有されています。

---

## 4.2 イベント内容と支部の雰囲気

Sales支部のイベントは**参加型・多彩**なのが特徴です。

- **LT大会**

営業・マーケティング目線のネタで発表。「推しAWSサービス」や「お客様とのAWSあるある」など。

- **提案コンペー仮想RFPコンテスト**

提示されたお題に即興でチーム提案を披露。後日「振り返り会」で議論を深める徹底ぶり。

- **生成AIアイデアソン（予定）**

AWS目黒オフィスでのオフライン開催。参加者同士でチームを組み、ぶっちゃけトークからアイデアを膨らませる。

---

## 4.3 おわりに – 初心者こそSales支部へ！

JAWS-UG Sales支部は、**初心者に優しく開かれたコミュニティ**です。  
非エンジニアが主役になれる数少ない支部であり、明るくアットホームな雰囲気が魅力。

LT大会での小さな成功体験や、懇親会での出会いが、あなたのAWS活用を後押しします。

「営業がクラウドを学んで何が楽しいの？」と思う方こそ、一度参加してみてください。

**いつでも新しい仲間を歓迎しています。**

「営業が楽しむ JAWS-UG」の一員として、一緒にAWSコミュニティを満喫してみませんか？

Connpassのページ：<https://jawsug-sales.connpass.com/>

---

#### Sales支部運営メンバー



**ニシ サダオミ**

X：<https://x.com/sadabon444>

営業なのに、コミュニティとAWSを愛する変わり者。  
2024年のJAWS DAYS参加をキッカケに、AWSにドブプリとハマる。  
無類の旅行好きで、JAWS-UG地方支部に行くことが最近の趣味。



**岡田 行司（オカダマン）**

Facebook：<https://www.facebook.com/koji.okada2>

2024年のre:InventでJAWS-UG Salesのリポートを決意。  
お仕事ではカスタマーサクセス（CS）組織を2022年に立ち上げた。  
好きな業務はクレーム対応。

## 第5章

# 転職にも良く効く CLI 専門支部

波田野 裕一 (tcsh)

CLI 専門支部は、AWS の公式コマンドツールである "AWS CLI" でハンズオンを行う支部です。2014 年 7 月に立ち上がった、JAWS-UG 初の専門支部であり、ハンズオンの開催回数は AWS コミュニティ内では世界最多(非公式: 2025 年 10 月現在)となっています。

CLI 専門支部の Connpass ページ: <https://jawsug-cli.connpass.com/>

## 5.1 10 年経っても陳腐化しない AWS 知識

AWS CLI は、AWS サービスの本体とも言える AWS API を直接操作することができるコマンドツールです。デザインが割としょっちゅう変わるマネジメントコンソール(通称: マネコン)に対して、API は、機能が追加されることはあっても、操作方法が変わることはほぼありません。(自分のこの 12 年の記憶でも、比較的メジャーな破壊的変更は、Lambda のリリース直後にロールの扱いが変わったのと、CloudFront に必須パラメータが追加されたのくらいしかありません。)

つまり、一度 AWS CLI で操作を覚えちゃうと、10 年後もそのままその知識が使える、というとても美味しいメリットがあるのです。

更に、変更前と変更後に確認コマンドで、設定状態を API レベルで確認できるため、なにかのときに「戻し」をするのもさほど難しくはありません。(マネコンの正確な「戻し」ってどうやってやるんですかね? 「だいたいこんな感じ」には戻せるとは思いますが...)

個人的には、本番環境での作成(Create)、変更(Update)、削除>Delete)は、CLI や SDK などの API ベースでやるべきであり、「本番環境で GUI(マネコン)を使ってもいいのは中学生まで」というフレーズをよく使っていたりします。(今どきの高校生は、カード 1 枚あれば、がちでクラウド使えますからね...)





図 1: GUIは中学生までかな

## 5.2 CLIでのAPI知識は転職によく効く (通称「JAWS-UG 転職支部」)

マネコンは知識が曖昧でも、雰囲気でなんとなく操作できてしまいがちですが、CLIでAPIを操作するには、そんな生温いレベルでは歯が立たず、API仕様を正確に理解しておく必要があります。

これが、実に転職には効果的で、約12年の活動(450回以上の開催、のべ14000人以上の参加者)からは、100名以上のクラウド転職者が誕生しています。CLI専門支部からのクラウド転職者は、あのブログの会社が一番多いのですが、目黒(2025年10月現在)のあのクラウドの会社の中の人として活躍されている方々もおられます。

おかげさまで、みなさんからは「AWS CLIで基礎が固まったのが大きかった」とおっしゃっていただけています。

## 5.3 CLI専門支部の最近の活動

ここ数年は、全てのAWS APIサービスの基礎ともなる、IAMを中心に解説とハンズオンを行っており、「IAMの全リソース、全アクション、全パラメータを扱う」ハンズオンをシリーズでやっていたりします。

他ではなかなか聴けない、「公式なAPI仕様に忠実な技術解説」とともに、CLIハンズオンで実際にAPIをさわってみる。そんな経験を積んでみませんか？

2026年度からは、他のサービスにも手を伸ばしていきたいと思いますので、ご期待ください。

## 著者紹介

---

**波田野 裕一 ( tcsh )**

X: <https://x.com/tcsh>



AWS Hero: [Builder Center](#)

AWS Samurai 2017: [blogs](#)

AWS Samurai 2020: [blogs](#)

所属支部: [JAWS-UG CLI 専門支部](#) / [JAWS-UG アーキテクチャ専門支部](#)  
/ [JAWS-UG 朝会](#)

JAWS-UG には JAWS Days 2014 が初参加(ぼっち)で、当時は会場に熱気に気押されて、懇親会にも参加せずにスグスグと帰りました。皆、最初はそんな思いをしているものです。コミュニティでのおすすめアクションは「こんな失敗しちゃいました」系の発表です。

## 第6章

# 社会人一年目がオススメする JAWS-UG DE&I 支部

山本 睦巳（タレカツ）と申します

今年の四月に社会人になってから、様々な JAWS-UG のイベントに参加してきました。

そんな社会人一年目の私が、誰にでも、特に初心者の方にもオススメしたい JAWS-UG DE&I 支部を、僭越ながら紹介させていただきます。

## 6.1 DE&I 支部とは

DE&I とは、多様性・公平性・包括性の英語の頭文字をとった言葉です。

多様性を重視し、性別や人種・思考に関わらず、誰もがみんなで共存・尊重し合うといった点を掲げて活動されており、みんなが平等で同じ目線で学べる場を提供されています。

また、元々は JAWS-UG 関西女子会として活動されていたため、運営は女性の方が多いです。

そのため、なかなかコミュニティに参加しづらいと考えている女性の方でも参加しやすいのではと思います。

大阪を中心に活動されており、基本的にみんなが気軽に参加できるようなイベントを開催されています。

## 6.2 どういったイベントがあるのか

DE&I 支部では基本的に LT がメインではなく、他の取り組みをされていることが多いです。

これまで私が DE&I 支部で参加したイベントを紹介します！（下記のイベントの最後に、数枠ですが LT の時間もありました）

### 6.2.1 ハンズオン

ハンズオンでは一人で進めるのではなく、みんなで一緒に取り組む雰囲気が特徴的です。

参加者同士で話し合えるような雰囲気があり、困ったことがあってもすぐに周りに聞けるため、一人でやるよりみんなで勉強したい方や、AWS触り始めの初心者の方におすすめです。

私も参加したときは、周りの人に困ったことがあった際に相談しながら進めました！

### 6.2.2 スキルパーティー

スキルパーティーは数人でAWS認定の試験問題を解くことを行います。

選択肢がなぜ正解なのか、不正解の選択肢がなぜ間違いなのか、数人で話し合いながら進めることで、ただ解くだけではなく本質的な理解に繋がります。

特に現在資格試験の勉強をしている方にオススメです。資格試験に着目した回なので、一緒に解いている方に現在試験勉強で困っていることがあった場合も相談しやすいと思います！

## 6.3 オススメポイント

### 6.3.1 みんなで一緒に行うイベント！

イベントの部分でも書きましたが、DE&I支部ではみんなで一緒に取り組むイベント内容になっています。

勉強会の中でも周りの人たちと数人で進めたり、みんなで一緒に行うようなイベントのため、勉強会の最中に自然と交流を深めることができるのではないのでしょうか！

### 6.3.2 自己紹介タイム

DE&I支部では、全員に対する自己紹介の時間が最初にあります。交流のないところから他の参加者と話すのは難しいかもしれませんが、自己紹介があることで話題も作りやすいと思います！

初対面でも周りの人と交流しやすい様な取り組みは、とてもありがたかったです！

## 6.4 さいごに

私が初参加した支部で、ここまで JAWS-UG に没頭するきっかけとなった支部です！

ぜひ大阪で AWS コミュニティのイベント参加を検討されているなら、足を運んでみることをオススメします！

### 著者紹介

---



**山本 陸巳（タレカツ）**

X : [https://x.com/tarekatsu\\_eng](https://x.com/tarekatsu_eng)

Qiita : [https://qiita.com/tarekatsu\\_eng](https://qiita.com/tarekatsu_eng)

この半年間で 20 以上のイベントに参加してきましたが、どの支部も勉強になり楽しめるイベントが開催されています！

AWS に興味のある方はぜひ JAWS の勉強会に参加してみることをオススメします。

## 第7章

# JAWS-UG 横浜支部で人生初のLT登壇を経験して

深津 新太郎 (@shin\_fukatsu)

今ではいろいろな支部のイベントに参加して、登壇もさせていただいている私ですが、そのきっかけをいただいた JAWS-UG 横浜支部に御礼の意味も込めて紹介レポートを書かせていただきます。

JAWS-UG 横浜支部 <https://jawsug-yokohama.connpass.com/>

## 7.1 初めての登壇までの道のり

オフラインイベントに参加しても、一人で参加していて誰かとなかなか話せない、参加していて一人だとどうしてもと不安になることがありますよね。私もコミュニケーションを上手に取れる人間ではないので、いつも不安に感じていました。

一方でコミュニティという場で会社の垣根を超えて人と人が繋がっているのを見て、とてもいいな、自分も入りたいなと感じていました。でも自分から話しかけるのもきっかけをどうしようか、自分から話しかけにくいのが難しければ、きっかけを作って話しかけてきてもらうのが良いのではないかな。きっかけは・・・よし、試みにLT登壇してみよう！と思いついたところから始まりました。

当時、re:Invent という年に一度ラスベガスで開催される大規模なAWSカンファレンスに参加する予定だったので、帰国後に現地で学んだことを話せば、イベントに参加している方々に気に止めてもらえるのでは？と思い、私は人生初のLT登壇の申し込み先を探しました。スケジュール等を考えて、最終的に選んだ場所が、JAWS-UG 横浜支部で開催された「AWS re:Invent 2024 宇宙一早い re:Cap」というイベントです。

帰国翌日の夜に開催されるということで、名前の通り「宇宙一早い re:Cap」です。移動中の飛行機の中で必死に登壇資料を作成していたことを今でも鮮明に覚えています。時差ボケと疲労の中での資料作成は大変でしたが、re:Invent で得た新鮮な情報を早く共有したら、こういった反応が返ってくるだろうかというワクワクした気持ちが私を突き動かしていました。

5分というとても短い時間でしたが、私にとってはとても価値のある重要な5分間でした。登壇後、懇親会で色々な方からお声がけをいただきました。共感を得た部分についてお話をいただいたり、実際どうでしたか？といった現地での反応について質問をしてくださる方もいて、登壇して良かったと改めて感じました。

## 7.2 10年の歴史を持つコミュニティの温かさ

JAWS-UG 横浜支部は10年以上の長い歴史を持つコミュニティです。そんな歴史あるコミュニティが、新参者である私のLTを温かく受け入れてくれたことに感謝しかありません。ちなみに、私は横浜とは全く縁がありません。仕事も地元も、住んだこともない土地です。それでも個人参加で飛び込んだ私を迎えてくれました。会社の同僚がいるわけでもない、完全にぼっち参加でしたが、全く孤独感を感じることはありませんでした。

## 7.3 素晴らしい開催環境

当日の会場はヤマハ発動機さんのYAMAHA MOTOR Regenerative Lab（リジェラボ）という共創スペースをお借りしており、とても綺麗でおしゃれな空間でした。こういった他社のイベントスペースを訪問できるのも、コミュニティ活動ならではの魅力だと感じました。普段は入ることのできない企業の施設を見学できるのは、技術者として非常に刺激的な体験にもなりました。

## 7.4 継続的な学びの場

JAWS-UG 横浜支部では、LTイベントだけでなく、積極的にハンズオン会も開催されています。実際に手を動かして学べる機会が豊富に用意されているのは、技術力向上を目指す参加者にとって非常に価値のあることです。私自身、初回のLT登壇後も何度か参加させていただいています。一度参加すると、その居心地の良さと学びの多さに魅力を感じ、自然と足が向くようになりました。

また、この経験を通してコミュニティ運営に携わりたいなと思い、居住地である埼玉県でJAWS-UG 彩の国埼玉の立ち上げの際に参画させていただくことになりました。

## 7.5 初心者の方へのメッセージ

これから JAWS-UGに参加を検討している初心者の方には、まずは顔を出してオンラインで参加し、雰囲気を感じてみることをお勧めします。無理に登壇からスタートする必要は全くありません。また、ぼっち参加になることを心配する必要もありません。他にもきっと一人で参加している人はいますし、コミュニティの皆さんが温かく迎えてくれます。私自身がその証拠です。

技術コミュニティは、学びたい気持ちさえあれば誰でも歓迎してくれる場所です。JAWS-UG横浜支部での経験は、私のエンジニア人生において大きな転換点となりました。皆さんもぜひ、勇気を出して一歩踏み出してみてください。

### 著者紹介

---



**深津 新太郎**

X : [@shin\\_fukatsu](#)

Qiita : [@sh\\_fk2](#)

JAWS-UG 彩の国埼玉支部運営

AWS Community Builders 2025 (Cloud Operations)

AWS Certifications x 15

現在はオンプレシステム更改のPMを担当

re:Invent 2022-2025 参戦